

炭酸泉を作ることが仕事です！



T
Lotus Promotion
2sys

人工炭酸泉の新しい形 ティーツーシステムとお呼びください

特許第 5563160 号

登録第 5616502 号

<http://t2sys-lotus.jp>

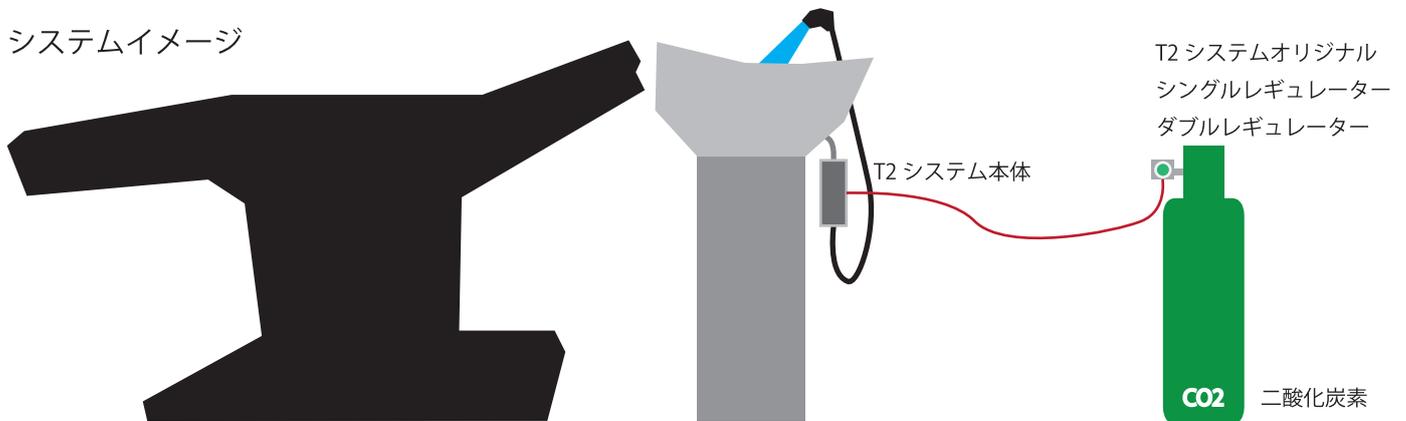
炭酸の 3 大効果とは！

- ①肌や髪を本来あるべき姿に戻し
- ②余計な汚れを落とし
- ③血行を促進させる

T2 システム設置イメージ



システムイメージ



T2sys(ティーツーシステム)とは、シャワーの根元に炭酸混合機器を設置して、そこに二酸化炭素を流し込み、人工的に炭酸を製造するシステムのことです。

お湯と二酸化炭素を混合させるモノを基本セットといい、大まかに2つのパーツから成り立っています。

- ① 混合部分（基本セット）、T2 システム本体の部分です。
- ② 二酸化炭素供給部分（ボンベ及びレギュレーター）

レギュレーターとは減圧弁のことを言います。

ガスボンベの圧力は恐ろしく高く、そのままでは使用できません、そこで二酸化炭素をお湯に混合できる圧力まで下げる必要があります。

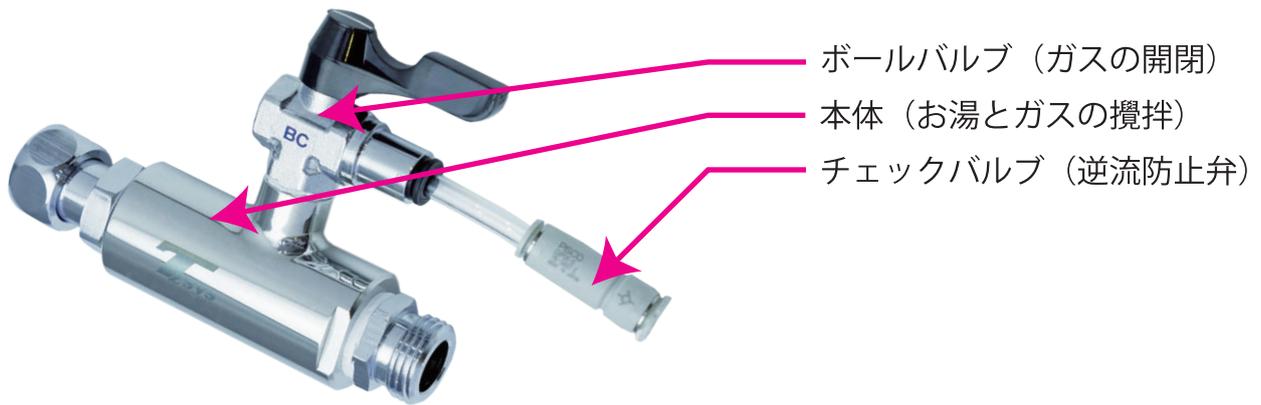
この減圧をする機械をレギュレーターといい、1台のシャンプー一台に供給する減圧弁をシングルレギュレーターと言います。

また、1本のボンベから2台のT2 システム本体に供給レギュレーターをダブルレギュレーターといい、サロンの需要に合わせてチョイスできます。

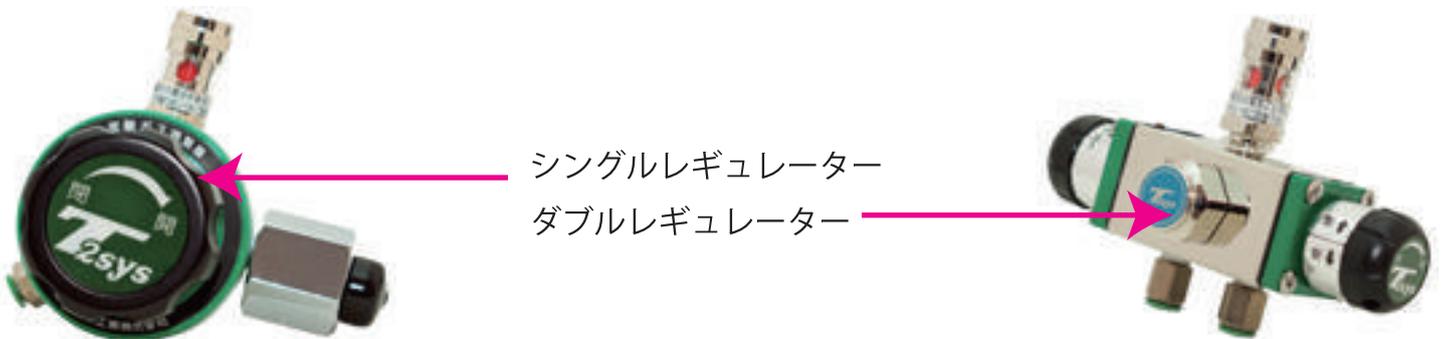
炭酸泉を作るのに最低限必要なもの

- ❶ T2sys 基本セット (シャンプー台 1 台につき 1 セット)
- ❷ レギュレーター (シングル or ダブル)
- ❸ 二酸化炭素ガスボンベ (5 kg or 10 kg)

① T2sys 基本セット (T2sys 本体部各部名称)



② レギュレーター



③ 二酸化炭素ガスボンベ



10 kgボンベ
 直径 20.5cm
 高さ 70cm

5 kgボンベ
 直径 16.5cm
 高さ 55.5cm



※ ボンベの配送及び取引は専門業者
 フクシマオーツーに委託。
 手配はいたします。

その他に必要なもの

- ④ 専用ウレタン耐圧チューブ（希望に合わせて切り売りいたします）
 - ⑤ シャワーホースアタッチメント（必要でない機種もあります）
- ④ 専用ウレタン耐圧チューブ



専用ウレタン耐圧チューブは T2sys 本体とレギュレーターを結ぶ炭酸ガスの配管になります。直径 6mm のチューブになりますが、必ずこの耐圧チューブをご使用ください。サロンによって、ボンベと T2sys 本体の距離を離して配置したり様々ですので、必要なメートル数をお知らせください。希望に合わせて、1メートル単位で販売いたします。

- ⑤ シャワーホースアタッチメント



W24-16 山



W24-20 山



ワールドビジョン用
3/8 インチ

シャワーホースの留め金（シャンプー台側のネジ）はメーカーによって、また同一メーカーでも製造時期によって規格が違います。最近では規格統一されて参りましたが、それでも何種類かのネジが存在いたします。また、同じ径でもネジ山（ピッチ）の違いにより、取り付けが可能なものもあれば、取り付けができないモノも存在します。

T2sys を購入される際には必ず、お問い合わせください。
サロンのシャンプー台に適合した組み合わせでお見積もりいたします。

T2sys を取り付けできないシャンプー台はありません。

あると便利なもの（オプション）

- ⑥ フットスイッチ
- ⑦ ボンベケース
- ⑧ 炭酸シェーカー
- ⑥ フットスイッチ



T2sys 基本セットは手動で二酸化炭素のガス開閉を行います。フットスイッチは文字通り、踏むことによって、ガスの開閉を行うことができるツールです。

ロック機構で、一度踏んだらガスは出続けて、もう一度踏むとロックが解除されてガスが止まる仕組みになっています。

- ⑦ ボンベケース



ステンレス製の美しいボンベケースです。

3ピース構造になっており、簡単にボンベの出し入れが可能です。

キャスター付きですので、楽に移動もできます。

※（注文生産）納品まで2～3週間かかります。

1 本体構成部品

① T2sys 本体構成パーツ



② スクリューの位置

本体にはスクリューが付属しています。
 スクリューは予め本体にセットされています。
 スクリューには裏表はございません。



スクリュー位置
 本体を上部から見た位置

樹脂製スクリュー

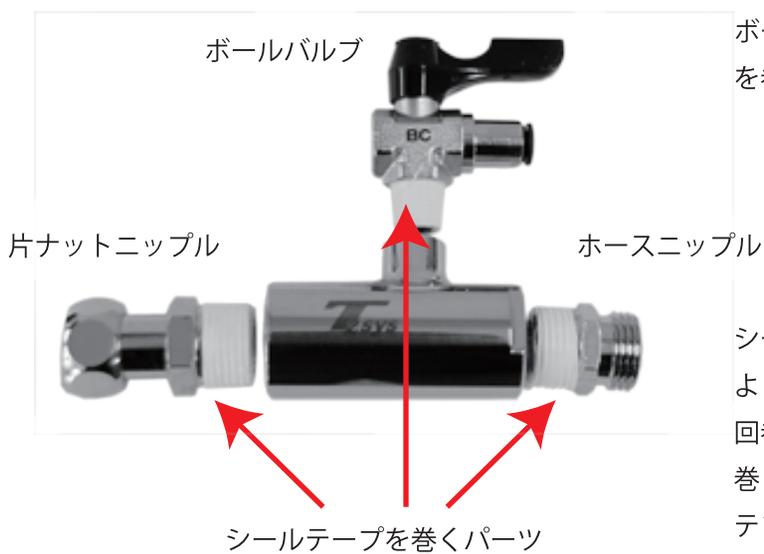


2 本体の組み立て

① 完成イメージ



② シールテープの巻き方と、巻くパーツ



T2sys 本体に片ナットニップル、ホースニップル、ボールバルブを取り付ける場合は必ずシールテープを巻いてください。

シールテープは写真のように、時計回りに4～5回巻いて下さい。
巻くときは、ネジの山にしっかり密着するようにテンションをかけて緩まないように巻いてください。
本体から水漏れがあった場合、シールテープを巻き直してください。



2 本体の組み立て (2)

③ シールテープ続き



シールテープを巻くと、片ナットニップルとホースニップルが完全に本体に入りきらない場合がありますが、無理をしないで回らなくなったところでやめてください。

シールテープの目的は、水漏れを防ぐためネジの隙間を埋める事です。片ナットニップル及びホースニップルが本体に完全に入りきらなくても、水漏れがなければ大丈夫です。

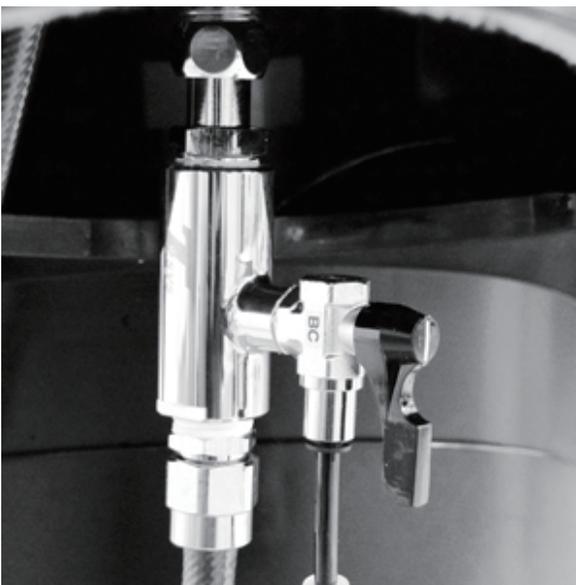
※実際に写真のようにネジが余っても、水漏れがなければ全く問題ありません。

④ ボールバルブ

付属のボールバルブはエルボータイプといい、垂直にチューブを出せる形状になっています。

ボールバルブは、写真のようにバルブのつまみが縦になっている場合がオンで、横に（T2sys 本体と垂直）に回すとオフになります。

オン：炭酸添加



オフ：通常シャワー



2 本体の組み立て(3)

⑤ チェックバルブ (逆止弁)

チェックバルブとは水流の逆流を防ぐ弁のことでボールバルブのすぐ下に取付けます。



取付ける際にはチェックバルブの向きにご注意下さい。

チェックバルブに刻まれている溝の長い方がボールバルブ側にきます。

専用チューブを5センチぐらいカットして、差し込むだけで装着できます。

※ チェックバルブは消耗品です、1年に1回取り替えて下さい。

⑥ 専用チューブ (6mm 耐圧ウレタンチューブ)



専用チューブは1メートル毎の量り売りになります、サロンで必要な長さをお申し付け下さい。

専用チューブのカットにはカッターやチューブカッターをご利用下さい。

※ハサミでカットするとチューブが潰れてエア漏れの原因になりますのでご注意ください。

チューブのセッティングについて

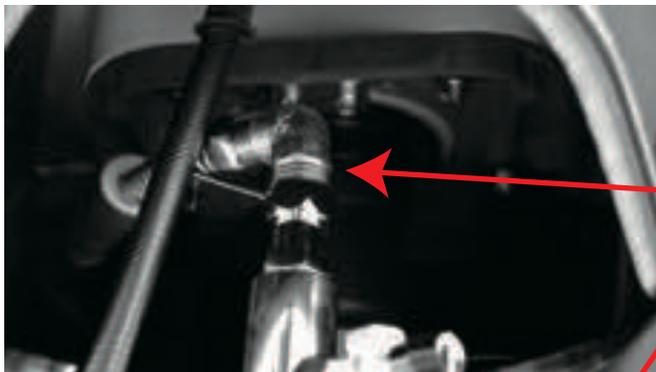


各パーツともチューブフィッティングという仕様になっております。

これはチューブを差し込むだけで固定される仕組みで、一度さしこんだら抜けにくい仕組みになっております。

チューブを抜く際には、各パーツのチューブ差し込み口にあるリングを押し上げながら抜くようにして下さい、無理矢理引き抜くと破損の原因になりますので、ご注意ください。

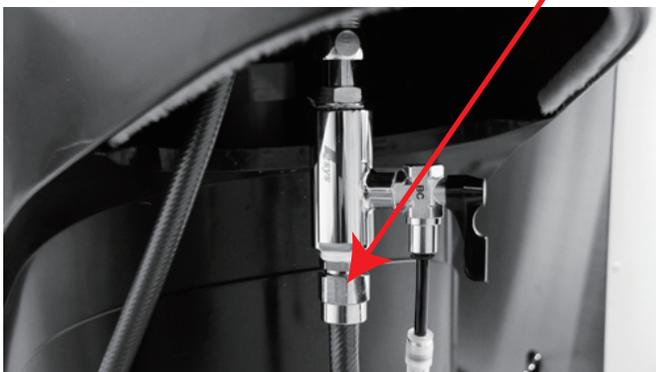
3 シャンプー台への組み込み



シャンプー台への組み込みは、先ずシャワーホースを外し、今までシャワーホースの付いていたところに T2sys を組み込みます。

シャワーホースの根元に付け足す感じです。

外したシャワーホースは、T2sys のホースニップル部分に再装着してください。



最近のシャンプー台はシャワーホース側が袋ネジになっています。

シャンプー台側は写真のように 6ネジが切られていますので、片ナットニップルの袋ネジ部分に、13 ミリパッキンを入れてネジを回し、最後にモンキーレンチなどでしっかり締めてください。

元々付いていたホースにも 13 ミリパッキンは入っていますので、T2sys のホースニップルに再装着すれば完了です。



13 ミリパッキン

13 ミリパッキンの位置



※ シャワーホースについている 13 ミリパッキンが劣化していた場合はホームセンターの水道コーナーで簡単に入手できます。

※ パッキンの劣化は水漏れの原因になりますので交換用にいくつかご用意ください。